

ニュースレター第18号をお届けいたします。今号は樋野先生のお言葉と、スタッフの森が担当します。

『柔和で穏やかな心をもって接する ～ 柔和な心を引き出す ～』

樋野興夫（順天堂大学名誉教授、新渡戸稲造記念センター長、恵泉女学園理事長）



2024年6月15日、『お茶の水メディカル・カフェ in OCC』に赴いた。私は個人面談の機会が与えられた。ドキュメンタリー映画『新渡戸の夢 ～ 学ぶことは生きる証～』も上演された。

私は、若き日、法然(1133-1212)の弟子の親鸞(1173-1263)の『歎異抄』を熟読したものである。『空海(真言宗)(774-835)、最澄(天台宗)(767-822)は、遣唐使として留学している。【空海は新約聖書、最澄は旧約聖書を日本に持ち帰った。また聖徳太子(574-622)の『17条憲法』、親鸞の『歎異抄』には聖書的な言葉もありますね! ?】と聞いたものである。親鸞の『歎異抄』に『人種、性別、年齢、能力、貧富に関係なく、誰もが平等に「人間に生まれて良かった」と言える』とある。

今回、【『柔和で穏やかな心をもって接すれば、相手からも同じように柔和な心を引き出すことができる』&『青年とは 大きな希望抱負を有する者を称するので、年齢の多少を問わない。ゆえに希望なき者は、いかに若年であっても、片足を棺桶に踏み込んでいるのと同じようなもので、希望さえあれば、三十になっても。六十になっても、すなわち 青年というべきである』(新渡戸稲造:1862-1933)】をさりげなく語った。

『柔和で穏やかな心をもって接する ～ 柔和な心を引き出す ～』は、『お茶の水メディカル・カフェ in OCC』の原点で心得であろう。『お茶の水メディカル・カフェ in OCC』は、今年(2024年)は、12周年記念である。7月20日の『お茶の水メディカル・カフェ in OCC』で、『OCCカフェ12周年記念誌』を配布されるようである。大いに楽しみである。

## 明日への希望

2024年6月のOCCカフェ。いつものように、初参加の方、お顔馴染みの方々とテーブルを囲んでのカフェ。中盤になり、私が「先月、10年検診を無事に終え、ほっとしてるんです」と話すと、「私もです」「僕もなんです」と、同じテーブルに、10年を経過した3人が居合わせていました。

この10年間、自分のみならず、家族、医療関係の皆様、友人、がん哲学外来で出会った方々の事が思い出されました。「もう10年、まだ10年、とにもかくにも感謝です。これにつきます」この言葉が、3人共通の思いでした。

この先どうなるかは、誰にもわからない。“病気であっても病人でない”社会を目指し、与えられた役割使命を丁寧に実行、希望を持ち続けていきたい、と語り合いました。

がん哲学外来カフェは、愛ある安心安全な場としてたくさんの方々が集う、市民活動の人間学の学びの場でありますよう願います。

お茶の水メディカルカフェ in OCC スタッフ/  
目白がん哲学外来カフェ代表 森 尚子



<がん哲学外来>  
**お茶の水メディカル・カフェ in OCC**

～2024年開催予定日～

第32回	6月15日(土)
第33回	7月20日(土)
第34回	8月17日(土)
第35回	9月28日(土)
第36回	10月19日(土)
第37回	11月9日(土)
第38回	12月14日(土)

いずれも13時から開始です。

会場：お茶の水クリスチャン・センター

＜参加費無料・必ず事前にお申し込みください＞  
お申込み方法：mailもしくはFAXでお申し込みください。  
Mail: occmedicalcafe2021@gmail.com  
Fax: 03-3296-1010  
\*お申込み時に必ずお名前と当日に連絡のつくお電話番号をお知らせください。  
\*各回とも開催日の3週間前からお申し込みを受け付けております

主催：お茶の水メディカル・カフェ 共催：お茶の水クリスチャン・センター  
後援：一般社団法人がん哲学外来 がん哲学外来市民学会

順天堂大学名誉教授  
一般社団法人がん哲学外来名誉理事長  
新渡戸稲造記念センター長  
恵泉女学園理事長  
種野 興夫 先生

種野興夫先生との面談について  
お茶の水メディカル・カフェ in OCCでは  
毎回種野先生が出席されますので、面談が可  
能です。ご参加申し込みの際に、面談希望を  
お伝えください。